

東京讃岐会館等の概要

- ・東京讃岐会館は、県民が低廉な料金で宿泊できる施設であるとともに、東京における本県の情報発信・交流拠点の一つである。
- ・現在、株式会社喜代美山荘に貸し付け、同社が運営を行っている。
- ・敷地内には3棟の職員住宅がある。

・所在地：港区三田一丁目
・土地：5,217.66 m ²
・建物：東京讃岐会館（本館ほか） 4,879.36 m ²
職員住宅 3棟 1,377.65 m ²

（1）東京讃岐会館等の資産の沿革等

- ・昭和26年に現在の本館・西館部分の土地を購入、東京事務所及び東京宿泊所として使用
- ・昭和43年に現職員住宅A棟部分の土地を購入、昭和46年3月に本館・西館の建築に伴う代替宿泊所として現木造建物部分の土地を購入、昭和47年11月に東京讃岐会館を開館（香川県庁消費生活協同組合が運営主体）
- ・平成15年3月に香川県庁消費生活協同組合の撤退に伴い一時閉鎖。運営事業者を選定し、同年8月に株式会社喜代美山荘の運営により東京さぬき倶楽部として営業を再開、現在に至る。

（2）立地条件

- ・東京メトロ南北線、都営地下鉄大江戸線「麻布十番」駅の東方約200m圏にあり、中層マンション、一般住宅等が混在する住宅地域。
- ・近隣地域は、築年の経過した戸建住宅や小規模事務所等が密集し、幅員も狭い道路が多い地域であったが、東京メトロ南北線、都営地下鉄大江戸線の開通により交通利便性が大きく改善され、通勤に至便で若者に人気のある六本木に近接するエリアとして、近年マンションの建設が増えている。
- ・北側エリアでは、三田小山町東地区第一種市街地再開発事業（平成21年8月竣工）及び三田小山町地区第一種市街地再開発事業（平成22年5月竣工）により高層マンションが建設され、街並みが大きく変貌しつつある。

(3) 資産の状況

土地・建物配置図

①土地

所在地	地目	登記簿面積(m ²)	取得年月日	備考
港区三田一丁目 5-1	宅地	2,911.04	S26. 6. 11	
港区三田一丁目 6-1	宅地	1,211.07	S46. 3. 31	
港区三田一丁目 6-15	宅地	99.23	S56. 7. 22	
港区三田一丁目 5-8	宅地	312.59	S27. 3. 25	
港区三田一丁目 25-14	宅地	107.57	S27. 3. 25	
港区三田一丁目 23-1	宅地	576.16	S43. 11. 20	
合計		5,217.66		

②建物

図面番号	主な建物	構造	延床面積	取得年月日
①	本館、西館	鉄骨鉄筋コンクリート 12F	4,354.93	S48. 1. 25
②	事務室	木造 2F	54.04	S26. 6. 11
③	茶室	木造 1F	16.29	S26. 6. 11
④	別館 2号	木造 2F	120.14	S26. 6. 11
⑤	別館 1号	木造 2F	284.66	S46. 3. 31
⑥	渡り廊下	木造	18.00	S47. 10. 31
⑦	倉庫 (物置)	不明	9.38	S48. 7. 8
⑧	倉庫 (物置)	不明	14.58	S48. 12. 18
⑨	生ごみ置場	コンクリートブロック造	7.34	S53. 3. 29
合計			4879.36	
⑩	職員住宅 A棟 9戸 (約 62 m ²)	鉄筋コンクリート造 3F	1,077.11	H 4. 3. 17
⑪	職員住宅 B棟 15戸 (約 18 m ²)	鉄筋コンクリート造 3F		H 4. 3. 17
⑫	自転車置場	鉄骨造	10.8	H 4. 3. 24
⑬	職員住宅 C棟 3戸 (約 64 m ²)	鉄筋コンクリート造 3F	289.74	S56. 6. 3
合計			1,377.65	

